

# 未来創造志塾14期第11回(2016年1月18日)

## 帝王学、NO2・参謀学を学ぶ

### 第11回のテーマ 帝王学 まとめ

未来創造志塾 建塾の志

#### 目的

二十一世紀、新しい時代の大転換期を生き抜くための理念や経営の哲学を共に学び合う。

経世済民の高い志を持ち、日本人としての使命を探究し、切磋琢磨し合い、未来に向けての価値を創造し、共感の和を広げる。

#### 誓い

##### 一、大局観察

何事も高所、大局から、情勢判断する習慣を心掛けます。

##### 一、使命探究

人間の持つ無限の可能性を信じ、自らの使命を探求し、価値の創造に努めます。

##### 一、自己挑戦

常に智慧と向上心と勇気を忘れず、共に励ましあい、立派な日本人となることを目指します。

### 14期第11回 帝王学 まとめ

#### 今回のキーワード

#### 自己の「あり方」を問え！(being)

自分自身の立ち位置を確立せよ！(立命) 運命＝宿命＋立命

- ① 自己の「強み・弱み」から、期待されていることで、共同体へ貢献する
- ② 自己の価値観と個性から、世の中の未来に貢献出来ることを問い掛ける

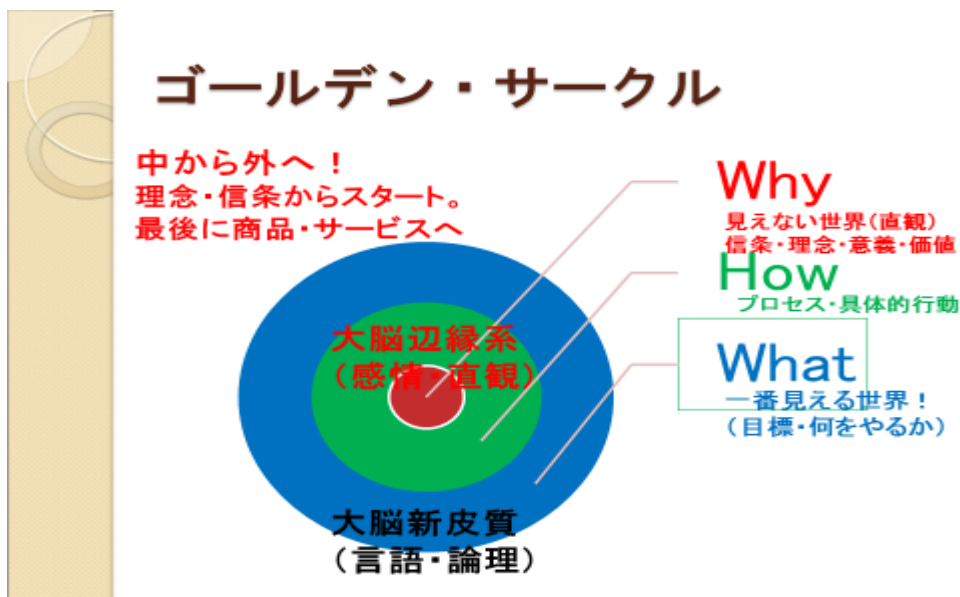
#### 学問とは…

##### ①自己を知ること

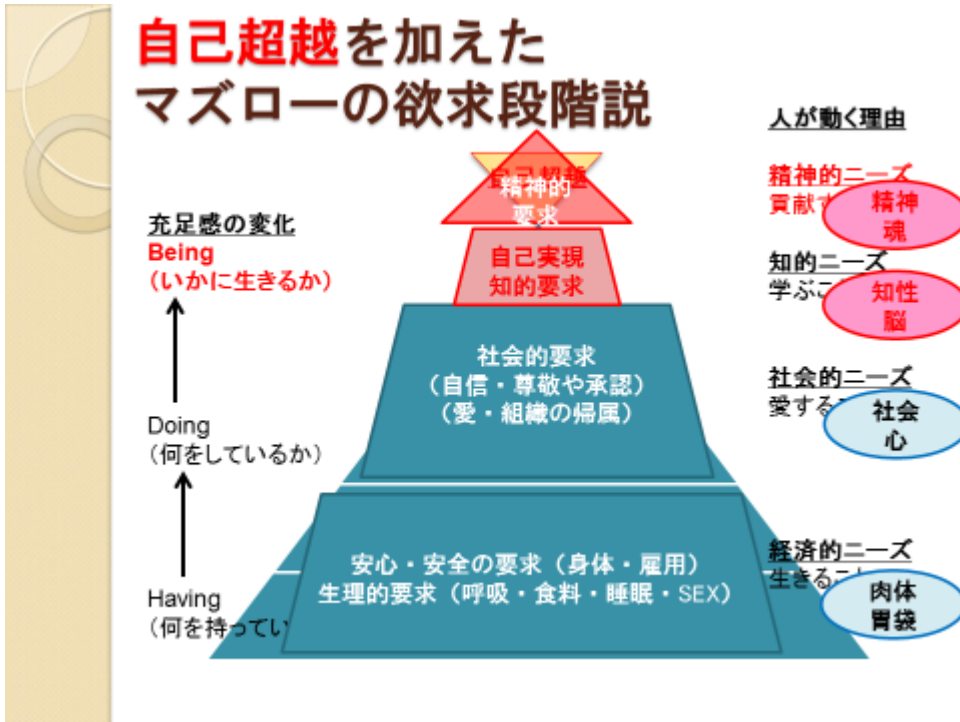
##### ②自己の置かれている環境を知ること

### ゴールデンサークル WHYから始めよ！

影響を及ぼす組織やリーダーの行動(操作するのではなく、インスパイアせよ！)



1. マズローの5段階の欲求——解説・講義



2. ニューロ・ロジカルレベルの仕事観

人生ビジョンレベル＝共同体発展・利他実現(人生四観)

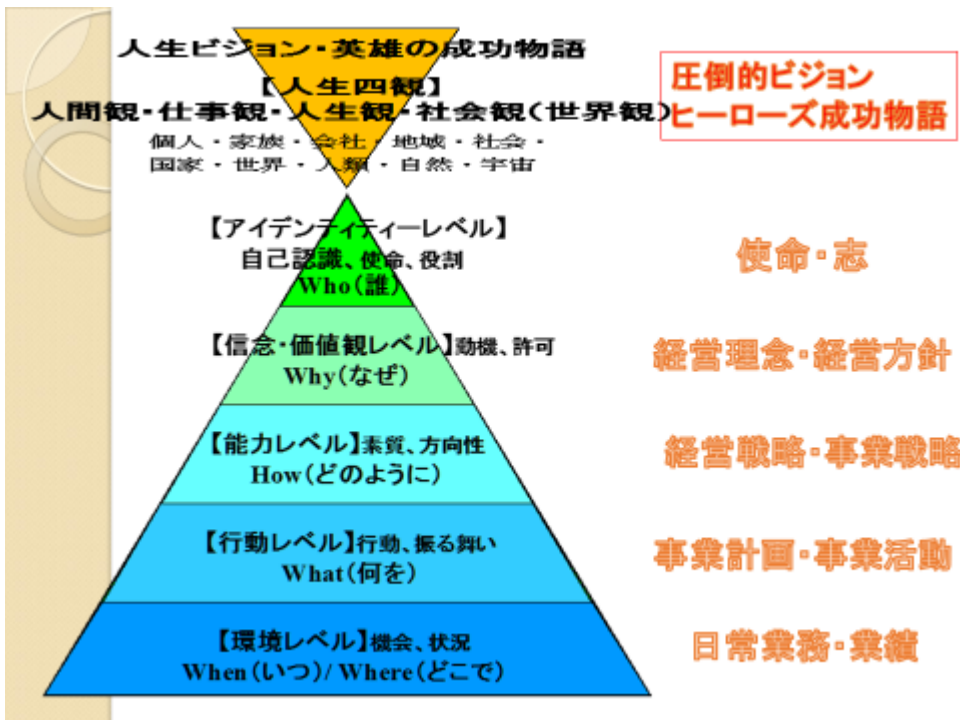
アイデンティティ・自分軸＝あなたの仕事における役割とは？

信念・価値観レベル＝あなたの仕事をする上で大切にしている自分自身との約束(こだわり)とは？

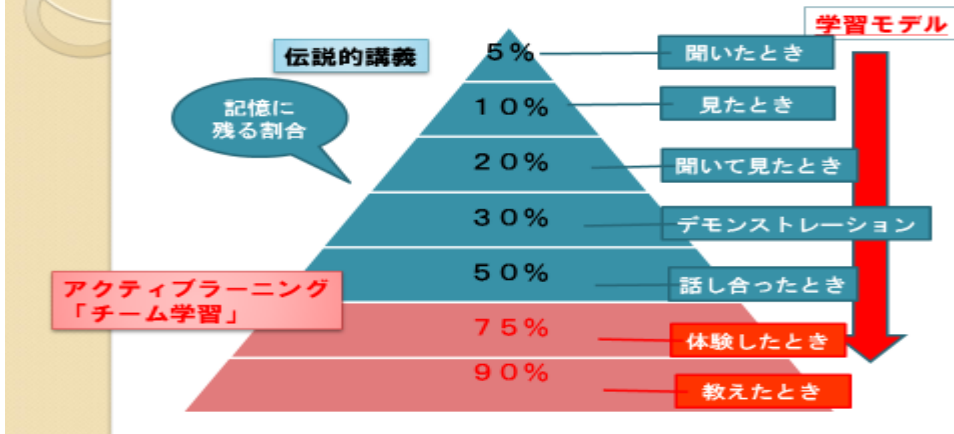
能力レベル＝あなたの今現在持っている能力(スキル・経験)もしくは身に付けたいと思っている能力とは？

行動レベル＝あなたが仕事で実際にどのような動き方をしていますか？

場所レベル＝あなたはどこで活躍していますか？



## 学習する組織の価値 個人学習からチーム学習（対話）へ



原理原則＝「無知が壁をつくる！」

学んで然る後、足らざるを知り、教えて然る後に苦しむを知る(礼記)

「無意識の意識化」社内のモチベーションを上げていく！ ATM(明るく楽しく前向きに)

ステート(状態)——皆が65点でOK！——常に意識する！！(努力するのではなく)

フィードバック:Step1うまくいっていることは何か？(肯定的に考えて他人の特性・長所を褒めてあげる)

Step2その理由は？(再度、深く掘り下げると！)⇒無意識の意識化⇒未来志向(訓練)

→→→共通体験・共通理論・共通言語→→→成長！進化。

肉体労働(19世紀まで)→頭脳労働(20世紀)→感情労働(21世紀)

～～人は無意識の中でお互いに影響されている！～～

社風が良い ⇒ 場が良い ⇒ 場理論 ⇒ 学習組織

### 「分離思考」と「統合思考」の違い

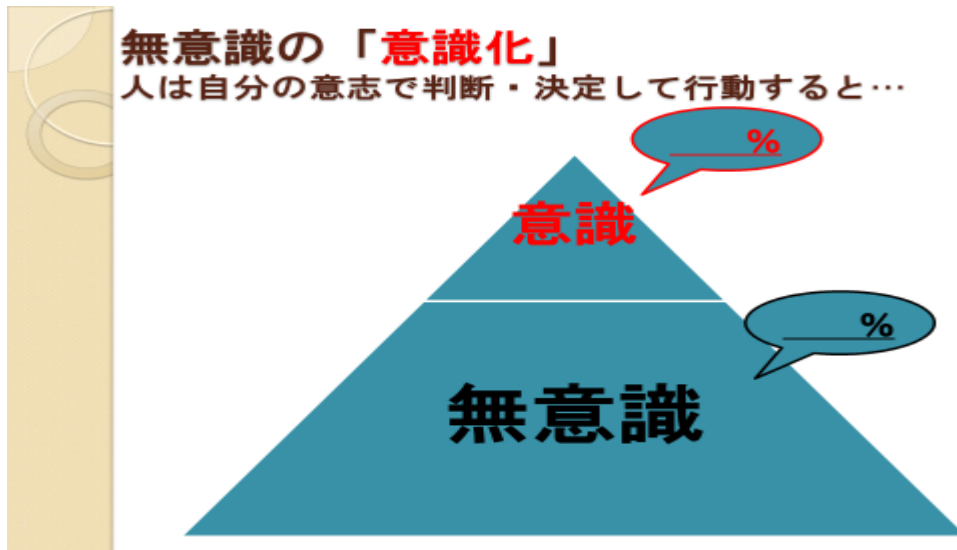
分離思考		統合思考	
部分性思考	実体性思考	全体性思考	関係性思考
客観的・合理的 分析思考		主体的・直感的 洞察思考	
17世紀・近代古典科学のパラダイム		21世紀・脱近代複雑系のパラダイム	
判断→決断			

### 教える教育と育てる教育

教える教育	育てる教育
加算	棄却
知識と情報	智恵と判断
理性と認識	意味と価値
客観性と合理性	主体性と使命感
目標性と方法性	目的性と実体性
自己肯定性の思考	自己否定性の思考
能力的思考性	思想的思考性

## 1 流と3流の人の違い？

無意識（潜在意識）の世界と意識（顕在意識）の世界  
人は毎日、        回的意思決定をしている！  
その内の        %が意識して判断・決定している。



目指すは学習する組織

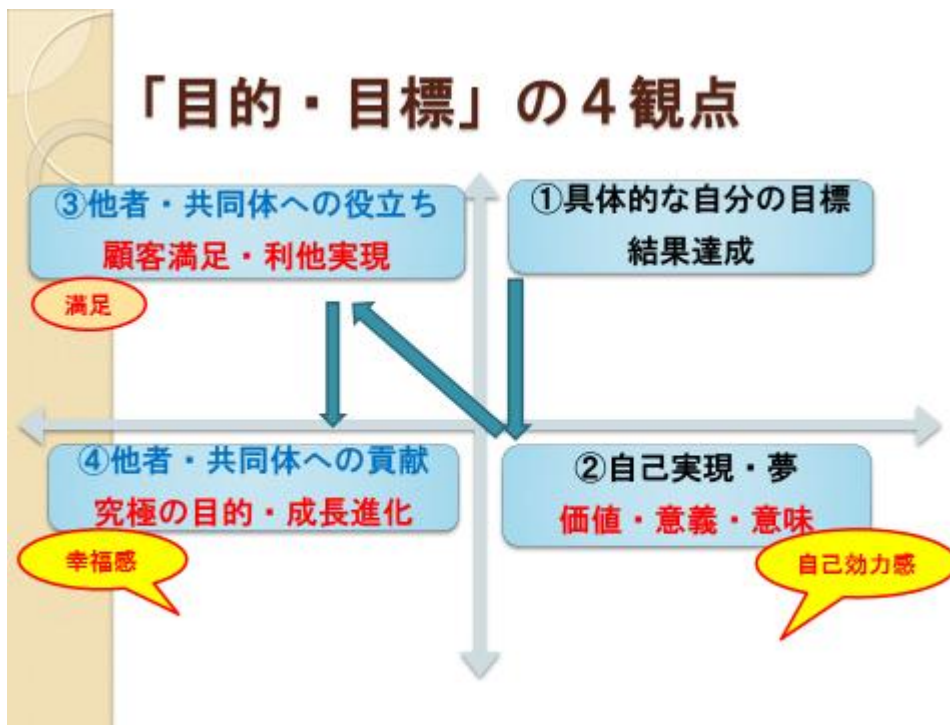
——自ら考え、自ら判断・意思決定し、自ら主体的に行動できる！

## 目的・目標の4観点

目的—目標—手段を意識する！

☆でも「手段の目的化」するのが人間…では、手段が目的化しないようにするにはどうすればいいか？

例:幸福21日プログラムを毎日(夜寝る前がベスト)書くことがどのような価値が4観点であるのだろうか？



課題2：自分の立てた「目標達成のためのルーチン行動」は何のためのものだろうか？

4観点で考えてみよう！

## 大変革の準備

自分の業界で「これから何が起こるのか」の未来を予見し、  
自分の企業が「これから何をを目指すのか」のビジョンを描き、  
自分の部署が「これから何を為すべきか」のコンセプトを語る。

## 7つの役割＝シンクタンク機能

第1に、様々な書籍、雑誌、資料の情報に目を通し、有識者の専門的な意見を学び、この業界の動向についての「情報や知識」を集めなければならない。「インテリジェンス力」

第2に、社内外のキーパーソンに集まってもらい、その様々な声に耳を傾け、智恵を借り、お互いの意見交換や議論を通じて、「業界や市場の将来」についての新たな知見を得る。「コミュニティ力」

第3に、それらの情報、知識、智恵を分析し、統合、洞察することによって、業界の構造変化や市場の環境変化など、その業界で「これから何が起こるか」を予見する。「フォーサイト力」

第4に、その予見にもとづき、その変化の中で、当社は、業界の中でどのようなポジションを狙っていくのかなど、「これから何をを目指すのか」のビジョンを提示する。「ビジョン力」

第5に、そのビジョンにもとづき、今後、当社が取るべき市場戦略や、開発すべき商品を明確にし、「これから何を為すべきか」のコンセプトを提案する。「コンセプト力」

第6に、その「未来予見」や「ビジョン」や「コンセプト」を、社内で、経営幹部や同僚、部下に伝えていく。「メッセージ力」

第7に、その情報共有や提案活動を通じて、その企業において、「現状変革のための動き」を創り出していかなければならない。「ムーブメント力」

## ウェブ 2.0 革命 3つの進化

第1の進化 「情報バリアフリー革命」から「衆知創発革命」への進化

第2の進化 「草の根メディア革命」から「主客融合革命」への進化

第3の進化 「ナレッジ共有革命」から「感性共有革命」への進化

## キーワード

「知識社会」とは「知識」が価値を失っていく社会である。

「活躍する人材」から「求められる人材」への移行である。

プロフェッショナル論＝能力(スキル)から〇〇力(技術+心得)